



【モザンビーク大統領夫人による市内小学校訪問の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 4 月 20 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

アフリカ・モザンビーク大統領夫人が市内の小学校を訪問しました

アフリカ・モザンビーク共和国のニユシ大統領夫人が、3月14日、市立本郷台小学校（栄区）を訪問されました。

本郷台小学校は、平成25年に第5回アフリカ開発会議が横浜で開催された際、「一校一国運動」でモザンビーク共和国について学び、交流を深めたご縁があります。



学校教育・給食に高い関心をお持ちの大統領夫人は、5・6年生の卒業式の練習や地域の方から農作業を学ぶ授業を参観されたほか、児童と一緒に給食を召し上がりました。



ベナン共和国水道公社総裁が横浜を訪問しました

横浜市は、ベナン共和国コトヌー市と平成25年11月に「交流協力共同声明」を行い、技術協力や若い世代の交流など関係を深めています。

平成29年3月30日（木）、ベナン共和国の水道公社総裁一行が横浜市を訪問し、西谷浄水場内の水運用監視システムや浄水処理施設などを視察しました。

当日は水道局より配水ブロックシステムなど本市の水運用や監視体制について説明を行ったほか、水道記念館で横浜の水道の歴史について紹介しました。



一行は監視システムや浄水処理技術などについて多くの質問を寄せるなど、熱心に視察され、デイビッド・ババオラ水道公社総裁からは、「横浜の技術をぜひベナンの水道施設に取り入れていきたい」とのコメントがありました。

独日協会の皆さんに横浜の高齢者福祉施策を紹介しました

フランクフルトにある応用工芸博物館では現在、明治期の横浜の写真や版画を紹介する特別展「横浜1868-1912展～絵が輝き始めた時代」が開催されています。

4月1日、独日協会の会員の皆さん向けに同特別展の視察ツアーが催され、そのプログラムの一つとして、フランクフルト事務所長が横浜の魅力や横浜の高齢者福祉施策について紹介しました。



参加者の皆さんからは特に、「よこはまウォーキングポイント」や「地域包括ケアシステム」に大きな関心が寄せられました。

